



TÜV SÜD Trust Channel

苦情または不正行為の兆候を報告するための手続規則

本手続規則は、TÜV SÜD AG、TÜV SÜD Auto Service GmbH、TÜV SÜD Industrie Service GmbH、TÜV SÜD Product Service GmbH 又は TÜV Technische Überwachung Hessen GmbH が直接的又は間接的に過半数の持分を保有する、又はその他決定的な影響力を有する TÜV SÜD グループの全ての会社（以下「TÜV SÜD」）に適用されます。

概要 手続規則には以下の情報が記載されている：

1. 報告範囲
- 誰が報告でき、何が報告されるのか？
2. 報告書の提出
- どのように報告されるのか？
3. 責任
- 誰がレポートを処理するのか？
4. 手順
- レポートはどのように処理されるのか？
5. 不利益からの保護
- 関係者はどのように保護されるのか？

スコ ー プ 1. 報告範囲 - 誰が報告でき、何が報告されるのか？

誰が？ 何人も、苦情または不正行為の指摘（以下「報告」という。）従って、通報は、TÜV SÜD に雇用される者又は外部の者であれば、全世界で行うことができる。

え？ 報告書は、テュフズード自身の事業またはサプライチェーンにおける、法律および社内方針、ならびに人権および環境保護義務に対する実際の違反または潜在的な違反に関連する可能性があります。

レポ ー ト 2. 報告書の提出 - どのように報告されるのか？

どう
やっ
て？ 報告書の提出には、www.bkms-system.com/tuvsud 経由のデジタル報告システム TÜV SÜD Trust Channel の利用を推奨します。このシステムは、技術的にドイツの保護されたサーバー上で外部サービスプロバイダにより管理されています。

また、報告書は、電子メール（trustchannel@tuvsud.com）、電話、直接、または書簡で、グローバルコンプライアンスオフィスおよび TÜV SÜD の役員に提出することもできます。



いつ？
どの言語？
TÜV SÜD Trust Channel
を選択した場合、いつでもレポートを提出することができます。その際、ご希望の言語を選択することができます。

匿名または名前は？
必要に応じて、報告書を提出する者は完全に匿名にすることができます。TÜV SÜD Trust Channelに入力された報告は、技術的には追跡不可能です。しかし、事実の記述および性質により、報告書の提出者について結論を導き出すことができる場合があります。

TÜV SÜD Trust Channelでは、電子メールボックスを設定することができ、このメールボックスを通じて、個人名を開示することなく TÜV SÜD とメッセージを交換することができます。

責任
3. 責任
- 誰がレポートを処理するのか？

誰が？
報告書は、十分な訓練を受けた厳選された少人数のテュフズード社員によってのみ処理されます。報告書を処理する際、これらの従業員は公平で独立し、指示に縛られることなく、秘密を厳守します。

手続き
4. 手順
- レポートはどのように処理されるのか？

報告を受ける

すべての報告は真摯に受け止められ、以下の手順で処理される：

a) 受領確認

領収書の確認

報告受領後、連絡の可能性がある場合、報告者は7日以内に受領確認書を受け取る。

b) 報告書のチェック

レポートがチェックされる

まず、報告書に次のステップに進むための十分な情報が含まれているかどうかチェックされる。報告者に連絡する可能性がある場合は、未解決の点を明確にする。

オープンポイントの明確化

その後、追加手続きが決定されます。報告書の内容によっては、直ちに是正措置が開始される場合もあれば、テュフズードの専門部門がその後の処理を引き継ぐ場合もあります。

報告書に十分な情報が含まれていない場合、それ以上明確にできない場合、またはそれ以上の調査を行わずに反論できる場合、その案件は終了する。報告者に連絡する可能性がある場合は、その旨が報告者に通知される。

事実を調査

c) 事実関係の調査

報告された情報が伝達された後、TÜV SÜD の担当専門部署が事実関係をさらに調査します。この目的のため、例えば、報告者（接触の可能性がある場合）、報告の影響を受けた者及びその他の者との会話、文書及びデータの評価等が行われる。

調査期間は事案の事実関係によって異なり、数日～数週間から数ヶ月に及ぶこともある。調査期間中、通報者と連絡が取れる可能性がある場合は、3ヶ月以内に通報者に事件の状況が通知されます。

担当部署は、調査結果に関する報告書を作成し、対策のための勧告を提出する。

プロセスの状況に関する情報

対策

d) 対策

調査の結果によっては、雇用、刑事、民事などさまざまな措置がとられるほか、今後同様の事案が発生しないよう改善措置がとられることもある。

最終情報

結論

e) 手続きの終了

連絡の可能性がある場合は、報告書を提出した人に手続きの終了を報告し、結果を本人と話し合う。

プロ
テク
ション

5. 不利益からの保護

- 関係者はどのように保護されるのか？

自分の知る限りにおいて誠実に報告を行う者は、TÜV SÜD から何ら不利益を被ることはなく、TÜV SÜD は他者からの報復も容認しません。

同時に、TÜV SÜD は、報告を受けた人物を保護することの重要性を認識しています。これらの人物も報告を行う人物も、時期尚早に危険にさらされることはありません。